

環境庁委託

第2回自然環境保全基礎調査

植生調査報告書

(全国版)

1980

アジア航測株式会社

ま え が き

全国的な観点からわが国における自然環境の現況を把握することにより、その保全施策を推進することは、現在の急務である。昭和54年に実施された第2回自然環境保全基礎調査、植生調査はこのような主旨に基づき実施され、各県ごとに現存植生図および植生調査報告書が作成された。

本報告書では以上の成果をもとに、植生現況を数値情報に置きかえ、データベースとして整備する一方、これを集計整理して、我が国の植生現況をより客観的、総合的に把握することを試みた。

本報告書のとりまとめは環境庁自然保護局の委託を受けてアジア航測株式会社が行なった。

昭和56年3月

アジア航測株式会社

目 次

まえがき

1 . 調査の実施ととりまとめ方法

1 - 1 調査実施概要

(1) 目的

(2) 対象地域

(3) 調査内容

1 - 2 情報処理方法

(1) 入力処理方法

(2) 入力情報の点検

(3) 出力処理方法

2 . 結果と考察

2 - 1 集計結果

(1) 対象メッシュの状況

(2) 植物群落および植生自然度の集計

(3) 自然公園および保全地域の集計

2 - 2 考 察

(1) 植生状況の解析

(2) 群落の解説

(3) 自然公園および保全地域の植生状況

3 . 今後の課題

4 . 要 約

5 . Summary

付 表

資 料

付 図

目 次

- 表 1 - 1 入力情報
- 表 1 - 2 不明区分および開放水域の仮コード
- 表 1 - 3 群落コード入力方法の例
- 表 1 - 4 植生自然度区分基準
- 表 1 - 5 植生自然度コード
- 表 1 - 6 公園の地域区分と入力コード
- 表 2 - 1 県別調査面積（メッシュ数）の比較（昭和 5 5 年度および昭和 5 0 年度）
- 表 2 - 2 公園地域区別調査メッシュ数の比較（昭和 5 5 年度および昭和 5 4 年度）
- 表 2 - 3 植生区別メッシュ数の比較（昭和 5 5 年度および昭和 5 0 年度）
- 表 2 - 4 地方別集約群落集計表
- 表 2 - 5 地方別植生自然度集計表
- 表 2 - 6 国立公園の調査面積（メッシュ数）
- 表 2 - 7 国定公園の調査面積（メッシュ数）
- 表 2 - 8 原生自然環境保全地域の調査面積（メッシュ数）
- 表 2 - 9 自然環境保全地域の調査面積（メッシュ数）
- 表 2 - 10 公園地域区別植生区分構成比
- 表 2 - 11 代表的な群落の地方別構成比
- 表 2 - 12 全国の 0.1 % 以上の面積を占める自然植生（集約群落別）
- 表 2 - 13 愛知県の集計結果の比較
- 表 2 - 14 群落解説例

- 図 1 - 1 調査フロー
- 図 1 - 2 作業フロー図
- 図 1 - 3 メッシュ読みとり測定域
- 図 1 - 4 磁気テープの出力形式
- 図 1 - 5 行政区別集計表出力フロー
- 図 1 - 6 公園別集計表出力フロー
- 図 2 - 1 対象地域の植生区分別比率
- 図 2 - 2 対象地域の植生自然度別比率
- 図 2 - 3 地方別植生区分構成比
- 図 2 - 4 国立公園位置図
- 図 2 - 5 国立公園別植生区分構成比
- 図 2 - 6 国定公園位置図
- 図 2 - 7 国定公園別植生区分構成比

1 . 調査の実施ととりまとめ方法

1 - 1 調査概要

(1) 目 的

第2回自然環境保全基礎調査要綱に基づき、昭和54年度に実施された植生調査結果を整理し、植生現況を数値情報に置きかえ、データバンクとして整備する。さらに、これをもとに各種集計や分布図の作成、解析等を行ない、全国の植生現況について客観的、総合的な考察をすることを目的とする。

(2) 調査対象地域

調査対象地域は、昭和54年度に作製された縮尺1/50,000現存植生図の存在する地域とする。図化範囲は概ね主要な自然公園および保全地域を中心とする範囲で、全国の約2分の1の地域にあたる。(付図-1参照)

(3) 調査内容

本調査は図1-1に示すフローに従って実施した。

情報の読み取りは全国を網羅する地域メッシュコード(JIS.C6304-1976)を利用して行なった。このメッシュは縦横ほぼ1kmの区画によって構成され、オーバーレイを利用してそれぞれのメッシュと国土地理院発行の縮尺1/50,000地形図との対応が可能である。

読み取りは都道府県別に作製された縮尺1/50,000現存植生図をメッシュごとに植物群落コードに置き換えて行なった。データバンクには、さらに、自然公園および保全地域の情報や、標高、地形、地質、土壌に関する数値データを同一メッシュごとにつけ加えた。

次にこのデータを利用して各種の集計や分布図作成の処理を行ない、それぞれの集計結果について考察を加えた。

なお、同様の手法により昭和50年度に現存植生図の数値情報化が実施されており、今回は植生調査の集計整理の第2回目にあたる。

(内 容)

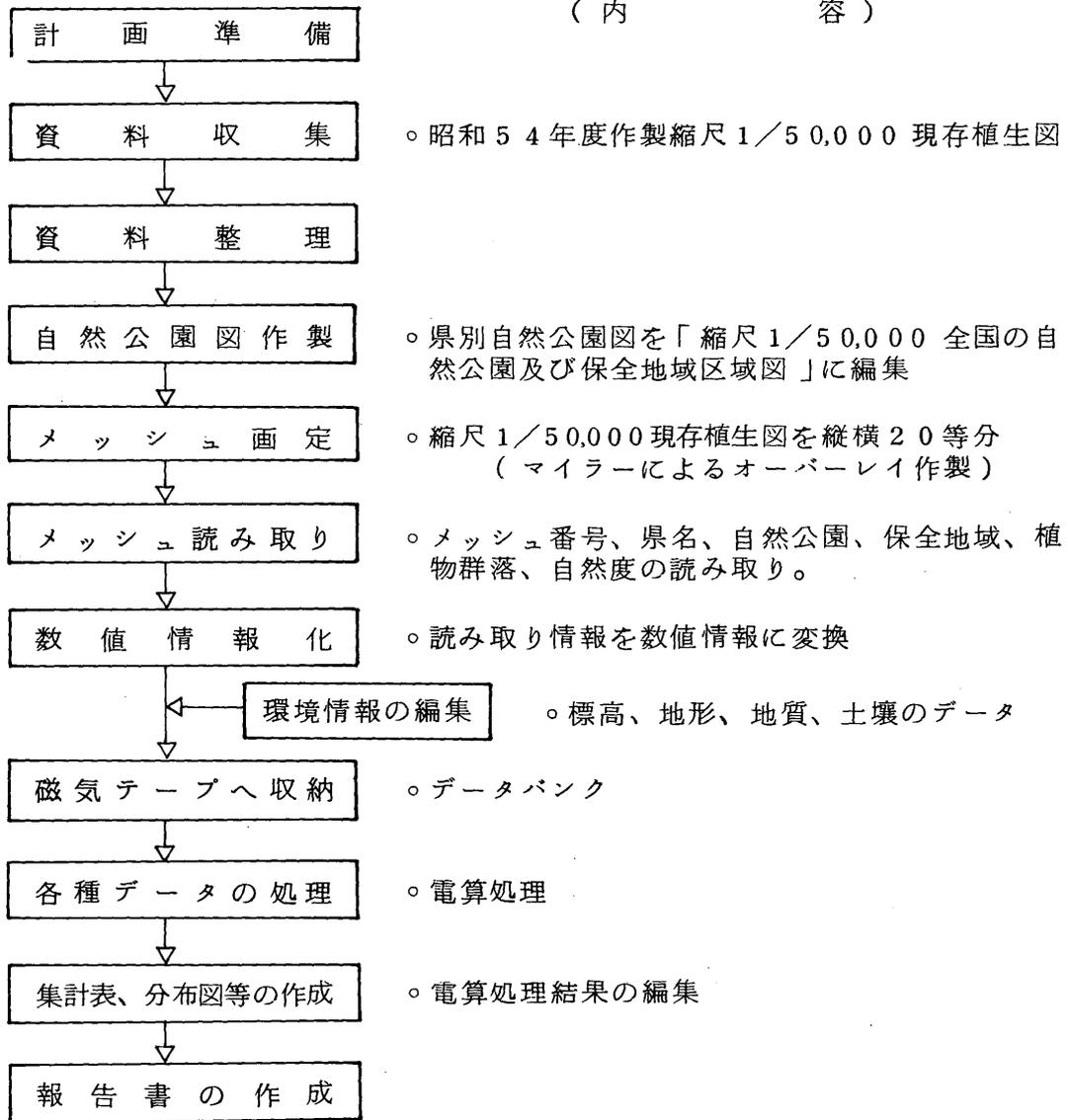


図1-1 調査フロー

1-2 情報処理方法

(1) 入力処理方法

概要

植生調査結果を整理、保存するために、約1km²の地域メッシュ(JIS-C6304-1976)を用いて数値情報に置き換えを行ない、表1-1に示す各種情報を磁気テープに収納した。入力のためのフローチャートは図1-2

に示すとおりである。今回使用した地域メッシュは昭和50年度の調査（昭和51年3月、環境庁編「緑の国勢調査」）で用いたメッシュと同様であり規格の詳細、コード番号の表示方法等については資料7に掲載してある。

表1-1 入力情報

事 項		内 容	備 考
1	植 物 群 落	現存植生図凡例一覧（1980、環境庁）に基づく530の群落コードを用いて現存植生図を数値情報として示す。	付表-1
2	自 然 公 園 お よ び 保 全 地 域	国立公園、国定公園、原生自然環境保全地域、自然環境保全地域をコードで示す。	付表-2
3	県 コ ー ド	県は01～47のコードで示す。	付表-3
4	地 図 番 号	県別及び1/50,000の地形図の図葉ごとの番号で示す。	資料5
5	植 生 自 然 度	10段階の自然度区分に若干の修正を加えた13の区分を用い、植物群落を自然度に置き換える。	本文 8ページ
6	標高、地形 地質、土壌	国土数値情報のKS-110およびKS-156ファイルを利用する。	付表-4、5、6

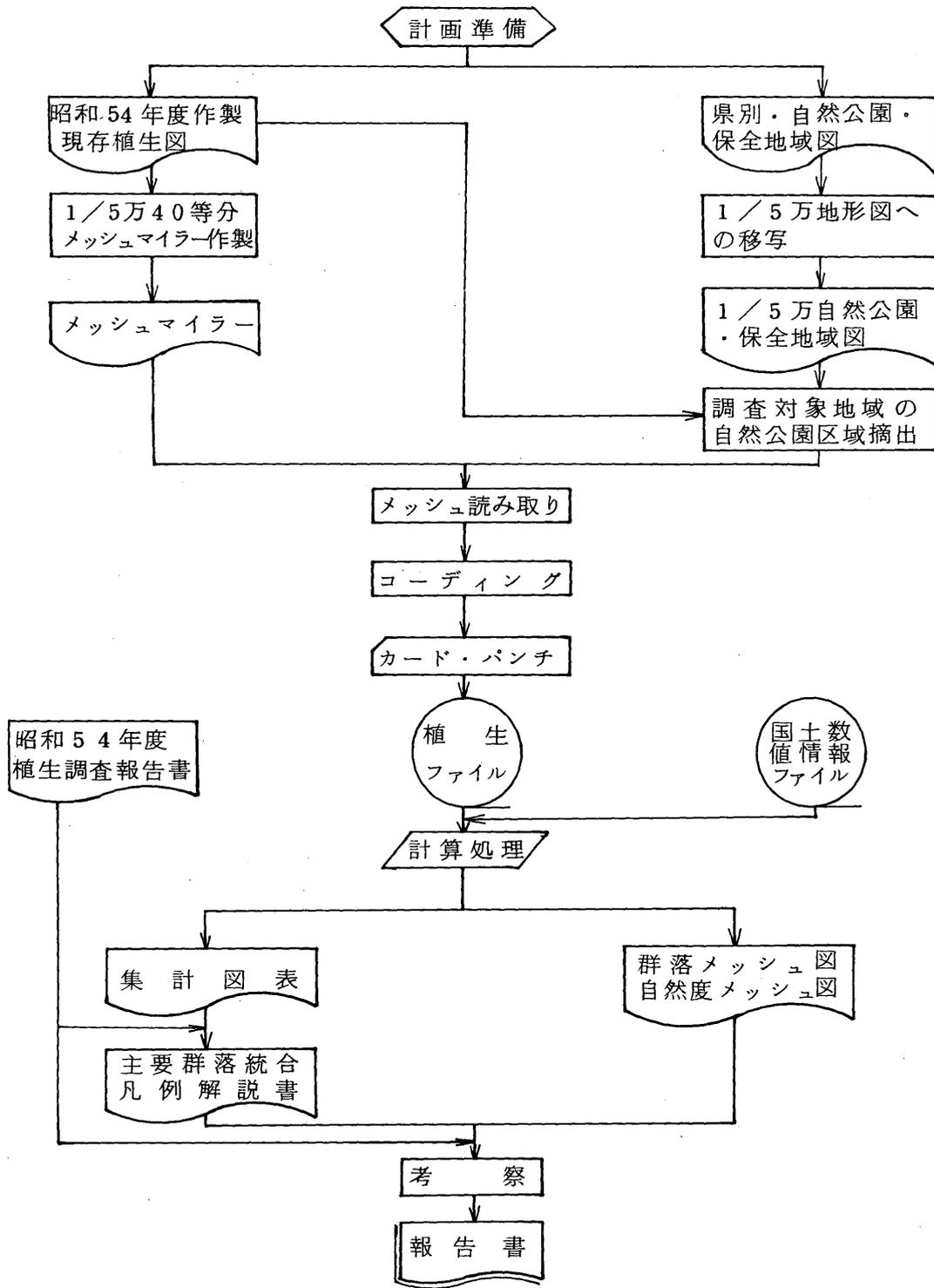


図1-2 作業フロー図

メッシュの読み取り

- 1 現存植生図の読み取り

昭和54年度に県別に作製された縮尺1/50,000現存植生図より、約1km×1kmの地域メッシュを利用して読み取りを行なった。読み取りは各メッシュの中央に図1-3のような直径5mmの測定円(約5ha)を設定し、円内で最も広い面積を占める群落をそのメッシュの代表とする手法(小円選択法)を用いた。この読み取り手法は昭和50年度に検討、採用された手法で、小面積の群落の欠除を防ぎ、偶然性を是正できることが特徴である。

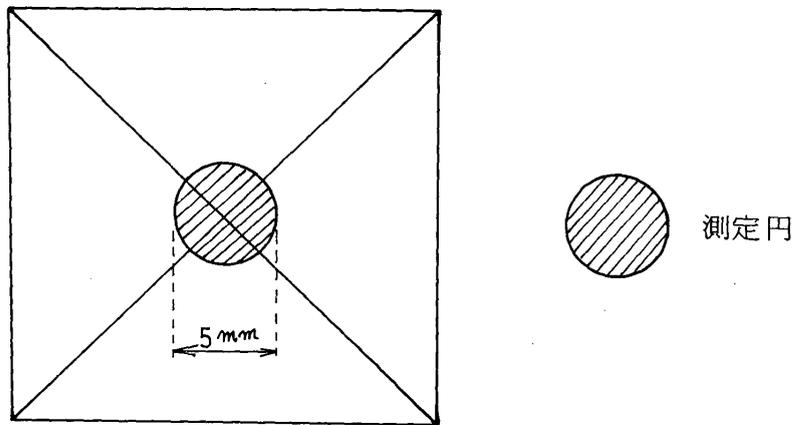


図1-3 メッシュ読み取り測定域

読み取り範囲は現存植生図の図化範囲としたが、細部では次のような条件を定め読み取りを実施した。

現存植生図のメッシュ読み取り条件

- イ．メッシュ内の測定円に植生図が一部でも含まれたときは、含まれた範囲について原則を適応する。(例：図化範囲境界付近や海岸線など)
- ロ．測定円に陸地が含まれても、植生図中に群落が表示されておらず、陸地面積が微細なときは除外する。(例：極めて小さい島など)
- ハ．読み取り範囲で、図の読み取りが不可能なときは不明区分を用いて表示する。(表1-2)
- ニ．陸域で囲まれるような湖沼、河川については、現存植生図中に該当凡

例がなくとも、開放水域として入力する。(表1-2)

ホ. 測定円に2県以上がまたがる場合は、最大面積を占める県のうち、最も広い面積の群落をそのメッシュの代表とする。

表1-2 不明区分および開放水域の仮コード

コード	内容
0.00.00.0	不明区分 植生図が読み取れないとき、明らかに間違っているときなどに使用
0.06.00.C	開放水域 植生図に開放水域、水域の表示がなく明らかに開放水域とみなせるところ

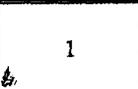
群落の数値化は、群落コードへの置き換えにより行なった。このコードは、昭和55年度環境庁作製の「凡例一覧」に準拠したものをを用いた。群落コードの入力方法は表1-3のとおりである。群落コードの一覧は付表-1に示した。全国での入力コードの数は530、これを集約した集約群落の数は267である。

各々の群落は植生自然度への変換が可能であり、メッシュを代表する群落の植生自然度がそのメッシュの植生自然度となる。植生自然度は、一般に表1-4のような10段階の表示が行なわれている。今回の集計でもこれに準拠しているが、植生自然度10およびその他の区分を次のように設定し、13区分の表示を行なった。

10-1	自然草原	
10-2	自然裸地	
10-3, 4	開放水域	{ 10-3: 現存植生図中に表記あり 10-4: " 表記なし (開放水域は一括する)
10-0	不明区分	

自然度コードは表 1 - 5 に示す。各々の群落と植生自然度の対応は付表 - 1 を参照。

表 1 - 3 群落コード入力方法の例

現 存 植 生 図 凡 例 一 覧		群落コード	入力コード
寒帯, 高山帯自然植生 Natural Vegetation in Alpine Zone			
	高山低木群落 Alpine scrub	* 10100	101000
	a. 高山低木群落 Alpine scrub		10100A
	b. コケモモ - ハイマツ群集 Vaccinio-Pinetum pumilae		10101B
	c. ハイマツ - コケモモ群集 Vaccinio-Pinetum pumilae		10101C
	d. ミネヤナギ群落 Salix reinii community		10102D
	高山ハイデ及び風衝草原 Alpine heathland and wind-exposed grassland	* 10200	102000
	a. 高山ハイデ及び風衝草原 Alpine heathland and wind-exposed grassland		10200A
	b. コメバツガザクラ - ミネズオウ群集 Arcterico-Loiseleurietum procumbentis		10201B
	c. コマクサ - イワツメクサクラス Dicentro-Stellarietea nipponicae		10203C
	d. エゾマメヤナギ - エゾオヤマノエンドウ群集		10200D
	e. オヤマノエンドウ - ヒゲハリスゲ群集 Oxytropis japonica-Kobresia bellardii-Ass.		10202E
	f. イワオウギ - タイツリオウギ群集 Hedysaro-Astragaletum membranaceae		10205F
	雪田草原 Snow patch community	* 10300	103000
	a. ミヤマクロスゲ - チシマクモマグサ群集 Carci-Saxifragetum merkii		10300A
	b. エゾツガザクラ - チングルマ群落 Phyllodoce caerulea-Geum pentapetalum community		10300B
	c. ミヤマイ - ハクサンボウフウ群集		10302C
	d. トカチフウロ垂群集		10300D

現在植生図凡例一覧の彩色凡例

表 1 - 4 植生自然度区分基準

植 生 自然度	区 分 基 準
10	高山ハイデ，風衝草原，自然草原等，自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツ - トドマツ群集，ブナ群集等，自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林，シイ・カシ萌芽林等代償植生であっても，特に自然植生に近い地区
7	クリ - ミズナラ群落，クヌギ - コナラ群落等，一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹，落葉針葉樹，常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落，ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園，桑園，茶畑，苗圃等の樹園地
2	畑地，水田等の耕作地，緑の多い住宅地
1	市街地，造成地等の植生の殆んど残存しない地区

表 1 - 5 植生自然度コード

植 生 自 然 度	コード	
植生自然度 10 およびその他の区分	10 - 1	01
	10 - 2	02
	10 - 3, 4	03, 04
	10 - 0	00
植 生 自 然 度	9	9
"	8	8
"	7	7
"	6	6
"	5	5
"	4	4
"	3	3
"	2	2
"	1	1

- 2 自然公園および保全地域の読み取り

読み取り作業に先立ち、県別に作製された自然公園および保全地域区域図（以下公園図と略す）を国土地理院発行縮尺 1 / 50,000 地形図に移写整理を行ない、この図面を作業図としてメッシュ読み取りを行なった。対象とした公園は、国立公園、国定公園、原生自然環境保全地域、自然環境保全地域である。また、公園図の読み取り範囲は現存植生図の読み取り範囲と同一とした。読み取り方法は先に述べた現存植生図の場合に準じ、読み取り条件は以下のように定めた。

公園図のメッシュ読み取り条件

- イ．現存植生図の図化されている範囲をすべて対象とする。
- ロ．対象区域内でメッシュの測定円内に公園が一部でも含まれたときは読み取りを行なう。
- ハ．2種類以上の公園が含まれるときは円内で最大面積を占める公園をそのメッシュの代表とする。
- ニ．公園図の接合などが不自然な場合は作業図に従いそのまま読み取った。
- ホ．公園地域外は4桁のゼロ（0000）によって表示する。

公園の数値化は環境庁自然保護局の定めたコード番号一覧によった。このコードは4桁の数字によって示されており、上2桁の数字で地域区分がなされている（表1-6）。コードの詳細は付表-2に示した。

表1-6 公園の地域区分と入力コード

地 域 区 分	入力コード	区分数
国 立 公 園	01 × ×	27
国 定 公 園	02 × ×	51
原生自然環境保全地域	03 × ×	5
自然環境保全地	04 × ×	5

(2) 入力情報の点検

入力処理を行なった植生図の中から、一次メッシュ（国土地理院 1 / 20万

地勢図に対応)単位で一図葉を選定し、再度の群落読み取りを行なった。読み取りを行なった図葉の選定は各一次のメッシュの東西南北のいずれかの端にあるものとした。

点検図葉枚数は46枚であり、メッシュ数で換算を行なうと8%である。

点検結果の一覧は付表-7にまとめて示す。最大の誤差率であった図葉は7.1%であり、平均では1.5%であった。

誤差の生じる主な原因は次のような理由によるものが多かった。

- 1) データの行あるいは列の読み違い。
- 2) パンチによるミス
- 3) 植生図の表示不明瞭

なお、植生図中で読み取りの困難なものは不明区分として扱い、誤差からは除外した。

(3) 出力処理方法

磁気テープの出力形式

磁気テープの出力形式は次のように行なった。

ファイルの仕様

- レーベル : ヘッド/トレイラ有
- レコード長 : 37字
- レコード件数 : 155,450件
- 記録密度 : 1600B. P. I
- 巻数 : 1巻

メッシュコード			県 コ ー ド	公 園 コ ー ド	群 落 コ ー ド	自 然 度 コ ー ド	標 高 コ ー ド	地 質 コ ー ド	地 形 コ ー ド	土 壌 コ ー ド
1 次	2 次	3 次								
×(4)	××	××	××	×(4)	×(6)	××	×(4)	×(5)	×××	×××
	5		10	15	20	25	30	35	37	

図1-4 磁気テープの出力形式

集計図表の出力形式

各種集計図表の出力形式とその内容は次の通りである。

- 1 行政区分別集計表

磁気テープに収録されているメッシュデータより行政区分別（県別、地方ブロック、全国）の集計を行なった。

植物群落に関しては環境庁の現存植生図一覧をもとに全国で530に区分された群落につき、県別の集計を行なった。県を全国で10の地方ブロックに集約して地方ブロック別（以下地方別と略す）の群落集計表を作成し、全国の集計を行なった。

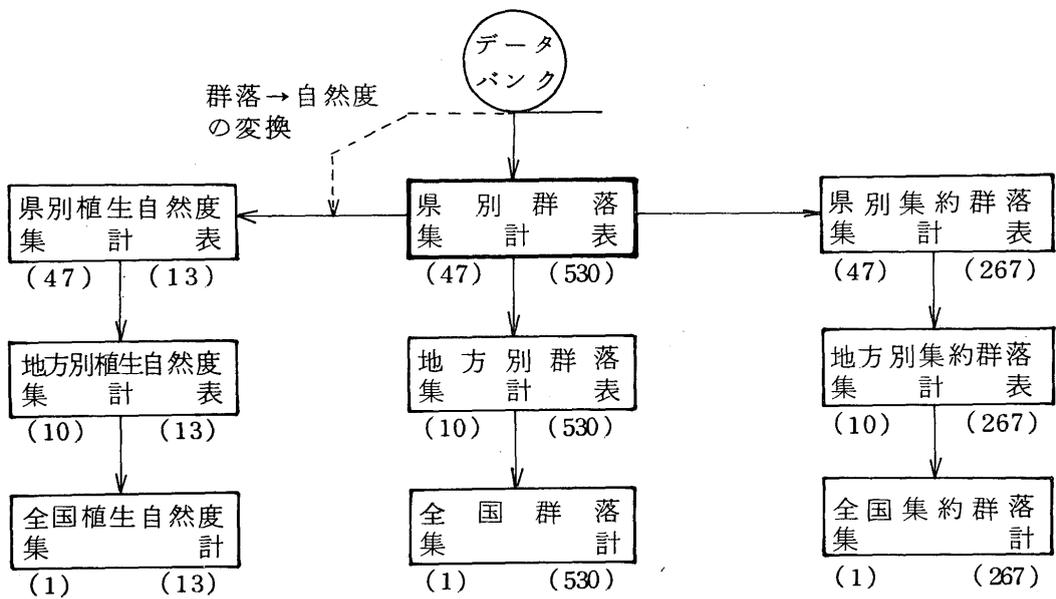
530区分の群落を環境庁の彩色凡例（全国で267区分）に従い集約して、県別の集約群落集計表を作成し、これを地方別に集約して地方別集約群落集計表を作成、さらに全国集計を行なった。

磁気テープに収録されている群落コードと自然度コードの対応を利用してメッシュごとに植物群落から植生自然度への変換を行ない、植物群落の場合と同様に集計して県別植生自然度集計表、地方別植生自然度集計表および全国集計を作成した。

出力のフローは図1-5に示すとおりである。

集計表はメッシュ数のマトリクスとして出力されるがメッシュ数の表示と合わせて出現比率も出力される。出現比率は小数点以下第3位を4捨5入し、第2位までを示した。

北海道：北海道，東北：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・新潟，
関東：茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨，
東海：岐阜・静岡・愛知・三重，北陸：富山・石川・福井・長野，
近畿：滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山，
中国：鳥取・島根・岡山・広島・山口，四国：徳島・香川・愛媛・高知，
九州：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄，



凡例

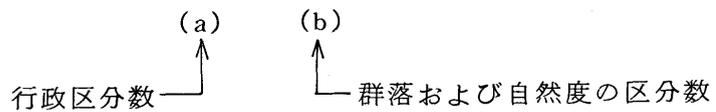


図 1 - 5 行政区分別集計表出力フロー

- 2 公園別集計表

全国の公園についても行政区分と同様に、群落、集約群落、植生自然度別の集計を行なった。対象とした公園は、国立公園（27ヶ所）、国定公園（51ヶ所）、自然環境保全地域（5ヶ所）、原生自然環境保全地域（5ヶ所）である。集計表の出力フローは図 1 - 6 のとおりである。

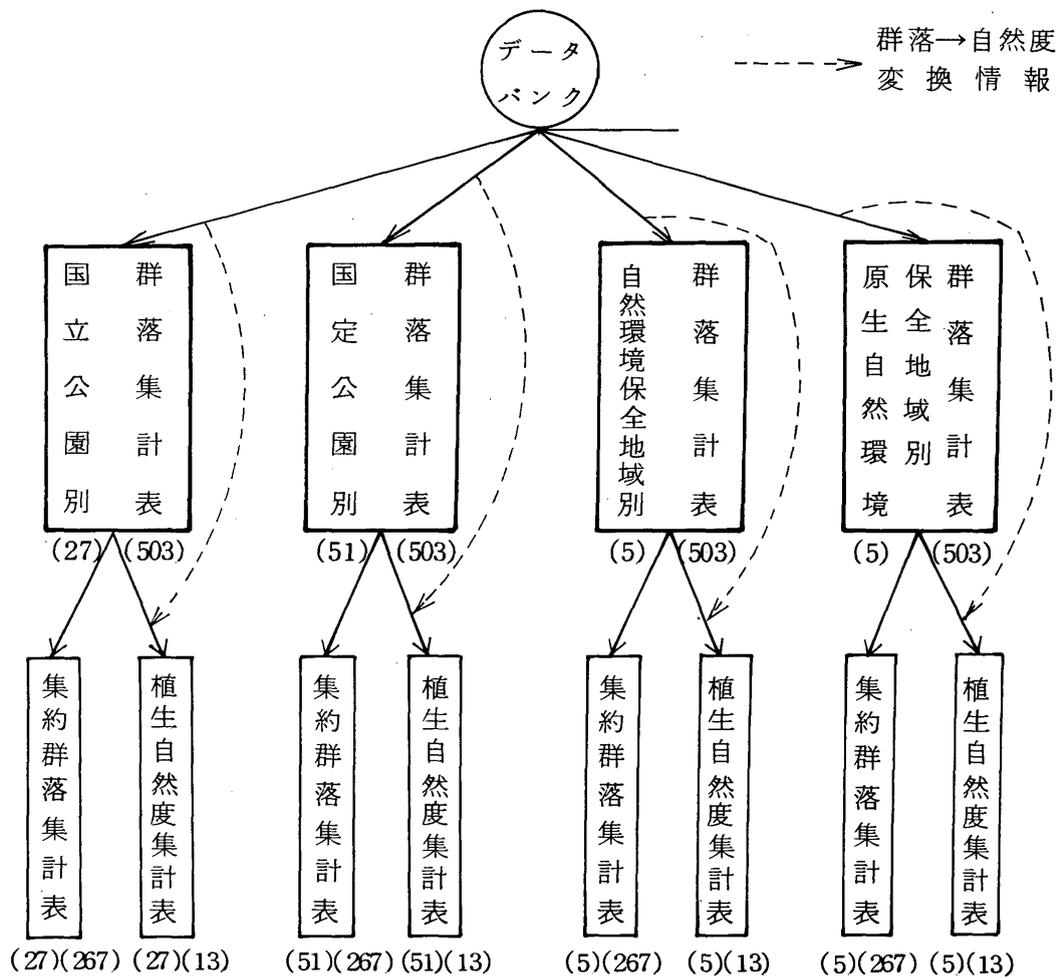


図 1 - 6 公園別集計表出力フロー

- 3 緯度，標高，地形，地質，土壤の集計

群落別にそれぞれの環境要因ごとの頻度表を作成した。緯度と標高については、頻度グラフに置き換えて表示した。

2 . 結果と考察

2 - 1 集計結果

(1) 対象メッシュの状況

本調査の対象となったメッシュは総数155,450メッシュで、これは全国の1/2よりやや少ない。

県別の対象メッシュ数(調査面積、1メッシュはほぼ1km²)および全域に対する比率(昭和50年実施時の全国カバーメッシュを基準とする)を表2-1に示した。(対象地域は付図-1を参照)。今回の調査状況は、愛知県、香川県でほぼ全域がカバーされているのをはじめ、大阪府、岩手県などで実施率が高くなっている。東京都、山形県、宮崎県、青森県などの調査面積比率は低く、山梨県と長野県は今回の調査対象から除外されている。

公園の地域区分別調査メッシュ数および昭和54年度に対する調査面積比率を表2-2に示した。今回の調査は公園地域を中心に実施され、全国のおおよそ80%の公園について集計が行なわれた。

表2 - 1 県別調査面積（メッシュ数）の比較（昭和55年度および昭和50年度）

県コード	県名	昭和55年度	昭和50年度	比率	県コード	県名	昭和55年度	昭和50年度	比率
				%					%
1	北海道	23,379	82,678	33.12	32	島根	3,194	6,146	51.97
2	青森	1,560	9,728	16.07	33	岡山	2,631	6,601	39.86
3	岩手	12,382	15,363	80.60	34	広島	2,974	7,925	37.53
4	宮城	4,037	7,137	56.56	35	山口	2,905	5,672	51.22
5	秋田	3,687	11,515	32.02	36	徳島	2,183	3,823	57.10
6	山形	1,045	9,178	11.39	37	香川	1,834	1,736	105.65
7	福島	5,940	13,290	44.70	38	愛媛	2,470	5,256	46.99
8	茨城	3,685	5,534	66.59	39	高知	3,049	6,557	46.50
9	栃木	2,579	6,079	42.42	40	福岡	2,510	4,564	55.00
10	群馬	3,720	6,106	60.92	41	佐賀	1,007	2,228	45.20
11	埼玉	2,120	3,586	59.12	42	長崎	1,892	3,783	50.01
12	千葉	2,202	4,829	45.60	43	熊本	4,530	6,781	66.80
13	東京	70	1,933	3.62	44	大分	3,785	5,830	64.92
14	神奈川	951	2,217	42.90	45	宮崎	1,062	7,019	15.13
15	新潟	5,865	12,104	48.46	46	鹿児島	3,543	8,246	42.97
16	富山	1,754	4,054	43.27	47	沖縄	1,227	1,956	62.73
17	石川	1,949	4,014	48.56		全国	155,450	360,359	43.14
18	福井	2,869	3,955	72.54					
19	山梨	0	4,244	0					
20	長野	0	12,961	0					
21	岐阜	4,577	10,038	45.60					
22	静岡	3,738	7,233	51.68					
23	愛知	4,956	4,788	103.51					
24	三重	2,238	5,397	41.47					
25	滋賀	2,292	3,153	72.70					
26	京都	2,270	4,346	52.23					
27	大阪	1,565	1,718	91.09					
28	兵庫	3,536	7,881	44.87					
29	奈良	1,930	3,459	55.80					
30	和歌山	1,653	4,400	37.57					
31	鳥取	2,140	3,313	64.59					

比率は昭和50年度調査を100とした場合の今回の調査面積比率を示す。100%を超えるのは測定精度の違いによる。

表2 - 2 公園地域区別調査メッシュ数の比較（昭和55年度および昭和54年度）

地域区分	昭和55年度	昭和54年度	比率(%)
国立公園	14,286	19,358	73.80
国定公園	9,059	9,707	93.32
原生自然環境保全地域	23	56*	41.07
自然環境保全地域	54	49*	110.20
公園計	23,422	29,170	80.29
全国計	155,450	360,359	43.14

*昭和54年度は調査されなかったため実面積(km²)で示した。

(注) 植生区分は現存植生図凡例一覧(環境庁)による

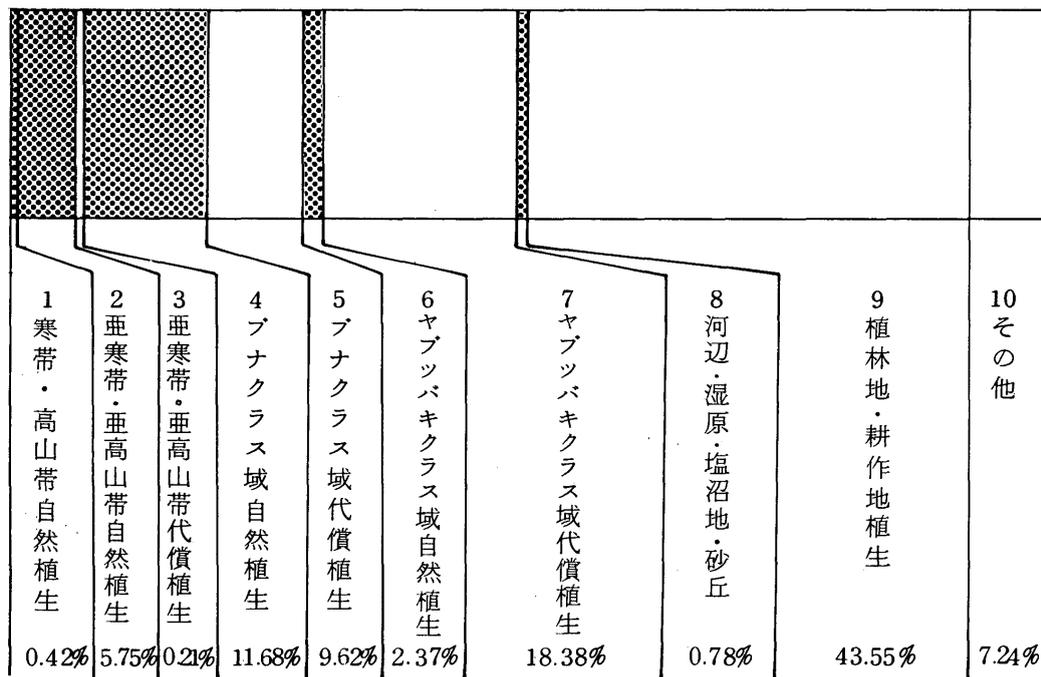


図2 - 1 対象地域の植生区分別比率



自然植生

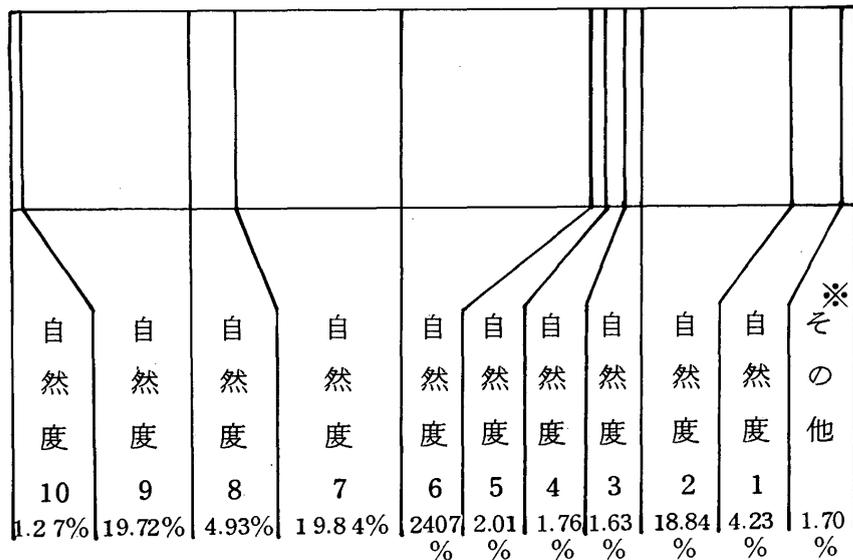
対象地域の植生区分比率を図2 - 1に、昭和50年度との比較を表2 - 3に示した。植生区分別の比率は昭和50年度と大きく変わらない。調査地域の約4割は植林地・耕作地植生によって占められており、自然植生は全体の約2割である。

表2 - 3 植生区分別メッシュ数の比較（昭和55年度および昭和50年度）

植 生 区 分	メッシュ数（比率）	
	昭和55年度	昭和50年度
寒帯・高山帯自然植生	646 (0.4%)	1,486 (0.4%)
亜寒帯・亜高山帯自然植生	8,936 (5.6%)	26,171 (7.3%)
亜寒帯・亜高山帯代償植生	324 (0.2%)	4,176 (1.2%)
ブナクラス域自然植生	18,158 (11.7%)	45,838 (12.7%)
ブナクラス域代償植生	14,954 (9.6%)	24,574 (6.8%)
ヤブツバキクラス域自然植生	3,682 (2.4%)	5,908 (1.6%)
ヤブツバキクラス域代償植生	28,579 (18.4%)	75,283 (20.9%)
河辺・湿原・塩沼地・砂丘 (各クラス域共通)	1,219 (0.8%)	2,115 (0.6%)
植林地・耕作地植生 (各クラス域共通)	67,703 (43.6%)	158,509 (44.0%)
そ の 他	11,249 (7.3%)	16,299 (4.5%)
計	155,450 (100.0%)	360,359 (100.0%)

「緑の国勢調査」(環境庁編、昭和51年3月)より

対象地域の植生自然度別比率を図2-2に示した。自然植生に該当する自然度10, 9の地域は約21%、二次林に該当する自然度8, 7の地域は約25%、植林地・二次草原・農耕地に該当する自然度6~2の地域は約48%、市街地・造成地など植生のほとんど存在しない自然度1の地域は約4%となっている。全体の約8割の地域が何らかの形で人為的影響を受けている。



※自然裸地、開放水域、不明区分など

図2-2 対象地域の植生自然度別比率

(2) 植物群落および植生自然度の集計

各県ごとに報告された植物群落を県別に集計したものが付表 - 8 である。群落総数は昭和 50 年度の 447 に比較し 530 に増加した。このうち 1メッシュ以上出現した群落は 420 であり、メッシュに読みとられなかった群落は 110 である。

各県ごとに報告された植物群落には同一性格のものが含まれているため、これらをさらに 267 の集約群落にまとめ、全国、地方別に集計したものが表 2 - 4 である。

また、植生の現況を人為的影響との関連によって検討するために植生自然度別の集計を行った。各植物群落に対する植生自然度(10段階)は付表 1 に示すとおりであり、自然裸地、開放水域などは別途に集計表示した。県別の植生自然度集計は付表 - 10 に、全国、地方別の植生自然度集計は表 2 - 5 に示した。

表2 - 4 地方別集約群落集計表

		上段メッシュ数 下段県別の出現比率										
(グンラク-シゼンド)	ゴウケイ	ホッカイドウ	トウホク	カントウ	トウカイ	ホクリク	キンキ	チュウゴク	シコク	キュウシュウ	オキナワ	
高山低木群落 (*10100-)	440 (0.28%)	296 1.08	50 0.14	16 0.10	25 0.16	53 0.81	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
高山ハイデ及び風衝草原 (*10200-)	108 (0.07%)	45 0.16	38 0.11	1 0.01	7 0.05	17 0.26	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
雪田草原 (*10300-)	98 (0.06%)	64 0.23	17 0.05	2 0.01	6 0.04	9 0.14	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
エゾマツ-トマツ群集 (*20100-)	1983 (1.28%)	1983 7.24	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
アカエゾマツ群集 (*20200-)	90 (0.06%)	90 0.53	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
イチイ-トマツ群集 (*20300-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
エゾマツ-ダケカンバ群落 (*20400-)	2554 (1.64%)	2554 9.33	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
シラビソ-トウヒ群団 (*20500-)	182 (0.12%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	182 1.17	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
オオシラビソ群集 (*20501-)	648 (0.42%)	0 0.00	376 1.09	168 1.10	6 0.05	96 1.47	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
シラビソ-オオシラビソ群集 (*20502-)	109 (0.07%)	0 0.00	0 0.00	109 0.71	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
コメツガ群落 (*20503-)	181 (0.12%)	0 0.00	13 0.04	157 1.02	4 0.03	0 0.00	7 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
カラマツ群落 (*20700-)	6 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	6 0.04	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
キャラボク群落 (*20900-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
シナイキンバイ-ミヤマキンボウゲ群団 (*21001-)	41 (0.03%)	0 0.00	5 0.01	0 0.00	2 0.01	34 0.52	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
ミドリユキザサ-ダケカンバ群団 (*20800-)	518 (0.33%)	159 0.58	87 0.25	1 0.01	22 0.14	249 3.81	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
ササ-ダケカンバ群落 (*20600-)	1991 (1.28%)	1828 6.68	36 0.10	99 0.65	28 0.18	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
ササ自然草原 (*21100-)	429 (0.28%)	225 0.82	132 0.38	52 0.34	12 0.08	8 0.12	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
ウラジロヨウラク-ミヤマナラ群団 (*21300-)	203 (0.13%)	0 0.00	117 0.34	80 0.52	0 0.00	6 0.09	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
ササ群落 (*30100-)	103 (0.07%)	66 0.24	10 0.03	12 0.06	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	15 0.16	0 0.00	0 0.00	
伐跡群落 (*30300-)	141 (0.09%)	120 0.44	0 0.00	4 0.03	14 0.09	0 0.00	3 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
ダケカンバ群落 (*30400-)	80 (0.05%)	10 0.04	55 0.16	4 0.03	9 0.06	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.02	0 0.00	0 0.00	
下部針広混交林 (*42600-)	898 (0.56%)	898 3.25	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
チシマザサ-ブナ郡団 (*40100-)	5482 (3.53%)	519 1.90	3980 11.53	627 4.09	228 1.47	103 1.58	25 0.19	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
ヒメアオキ-ブナ郡集 (*40101-)	129 (0.08%)	1 0.00	0 0.00	0 0.00	50 0.32	62 0.95	16 0.12	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
クロモジ-ブナ群集 (*40102-)	160 (0.10%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	8 0.06	152 1.10	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
マルバマンサク-ブナ群集 (*40103-)	396 (0.25%)	0 0.00	7 0.02	0 0.00	0 0.00	389 5.95	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	

	(ゲンラク-シゼンド)	ゴウケイ	ホッカイドウ	トウホク	カントウ	トウカイ	ホクリク	キンキ	チュウゴク	シコク	キュウシュウ	オキナワ
ヤマハンノキ群落	(*41600-)	119 (0.08%)	117 0.43	1 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
アカマツ群落	(*40800-)	73 (0.05%)	0 0.00	42 0.12	21 0.14	4 0.03	0 0.00	0 0.00	2 0.01	0 0.00	4 0.02	0 0.00
イヌシデ-アカシデ 自然林	(*41900-)	11 (0.01%)	0 0.00	9 0.03	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00
イワシデ群落	(*42000-)	2 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.02	0 0.00	0 0.00
ケヤキ群落	(*42500-)	23 (0.01%)	0 0.00	20 0.06	0 0.00	0 0.00	3 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
自然低木群落	(*41700-)	682 (0.44%)	1 0.00	632 1.83	2 0.01	1 0.01	0 0.00	10 0.08	2 0.01	0 0.00	34 0.19	0 0.00
ミズナラ-リョウブ 群落	(*43000-)	94 (0.06%)	0 0.00	0 0.00	35 0.23	2 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	57 0.31	0 0.00
カシワ群落	(*41702-)	44 (0.03%)	32 0.12	11 0.03	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ヒメヤシャブシ-タニ ウツギ群落	(*41703-)	169 (0.11%)	4 0.01	39 0.11	0 0.00	0 0.00	123 1.88	3 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ミヤマキリシマ-マイ ズルソウ群落	(*41704-)	22 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	22 0.12	0 0.00
コメツツジ群落	(*41705-)	4 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.04	0 0.00	0 0.00
ヤシャブシ群落	(*41709-)	4 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.02	0 0.00
自然草原	(*41800-)	122 (0.08%)	108 0.39	11 0.03	0 0.00	0 0.00	1 0.02	1 0.01	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00
フジアカショウマ-シ モツケソウ群落	(*41801-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
フジアザミ-ヤマホ タルブクロ群落	(*41802-)	6 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.03	2 0.03	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
オオヨモギ-オオイ タドリ群落	(*41806-)	14 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	14 0.21	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ブナ-ミズナラ群 落	(*50100-)	2916 (1.88%)	1 0.00	1860 5.39	109 0.71	151 0.97	533 3.15	90 0.68	172 1.24	0 0.00	0 0.00	0 0.00
カシワ-ミズナラ群 落	(*50200-)	332 (0.21%)	209 0.76	101 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.04	0 0.00	17 0.09	0 0.00
クリ-ミズナラ群 落	(*50300-)	7665 (4.93%)	67 0.24	4104 11.89	1514 9.88	446 2.88	284 4.34	543 4.10	637 4.60	69 0.72	1 0.01	0 0.00
アカシデ-イヌシデ 群落	(*50400-)	395 (0.25%)	0 0.00	3 0.01	1 0.01	133 0.86	1 0.02	67 0.51	62 0.45	78 0.82	50 0.27	0 0.00
ニシキウツギ-ノ リウツギ群落	(*50700-)	86 (0.06%)	0 0.00	8 0.02	2 0.01	71 0.46	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.05	0 0.00	0 0.00
シラカンバ群落	(*50500-)	78 (0.05%)	23 0.08	44 0.13	9 0.06	2 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
コウヤマキ群落	(*51600-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ハシドイ群落	(*51700-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
アカマツ群落	(*50600-)	234 (0.15%)	0 0.00	52 0.15	0 0.00	30 0.19	0 0.00	6 0.05	145 1.05	0 0.00	1 0.01	0 0.00
ササ草原	(*50900-)	1037 (0.67%)	881 3.22	55 0.16	33 0.22	23 0.15	9 0.14	8 0.06	8 0.06	13 0.14	7 0.04	0 0.00

	(ゲンラク-シゼンド)	ゴウケイ	ホッカイドウ	トウホク	カントウ	トウカイ	ホクリク	キンキ	チュウゴク	シコク	キュウシュウ	オキナワ
ススキ群団及びシバ群団	(*51800-)	110 (0.07%)	0 0.00	110 0.32	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ツクシウツギ-ノリウツギ群落	(*50800-)	19 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	19 0.10	0 0.00
ススキ群団	(*51000-)	739 (0.48%)	90 0.33	507 1.47	12 0.06	53 0.34	2 0.03	13 0.10	47 0.34	4 0.04	11 0.06	0 0.00
シバ群団	(*51100-)	185 (0.12%)	1 0.00	183 0.53	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00
ノハナショウブ-ススキ群集	(*51008-)	1 (0.00%)	0 0.00	1 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
伐跡群落	(*51400-)	1150 (0.74%)	210 0.77	117 0.34	102 0.67	93 0.60	32 0.49	74 0.56	501 3.62	15 0.16	6 0.03	0 0.00
オオアワダリソウ-オオハンコンソウ群落	(*51500-)	2 (0.00%)	2 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ナガハブサ群落	(*51200-)	4 (0.00%)	0 0.00	4 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
クズ群落	(*51900-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ヤブツバキ群落	(*63400-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
モミ-シャミ群集	(*60100-)	283 (0.18%)	0 0.00	5 0.01	16 0.10	18 0.12	0 0.00	146 1.10	3 0.02	60 0.63	35 0.19	0 0.00
ツガ-ハイノキ群集	(*60202-)	76 (0.05%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	14 0.09	0 0.00	18 0.14	4 0.03	11 0.12	31 0.17	0 0.00
イヌツゲ-ハイノキ群落	(*63500-)	2 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.01	0 0.00
ヒメアオキ-ウラジロガシ群集	(*60300-)	12 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	10 0.15	2 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
サカキ-ウラジロガシ群集	(*60400-)	52 (0.05%)	0 0.00	0 0.00	1 0.01	4 0.03	0 0.00	10 0.08	8 0.06	28 0.29	1 0.01	0 0.00
イスノキ-ウラジロガシ群集	(*60401-)	119 (0.08%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	119 0.65	0 0.00
アラカシ群落	(*60600-)	40 (0.03%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.02	0 0.00	6 0.05	3 0.02	0 0.00	28 0.15	0 0.00
アラカシ-ナンテン群集	(*60601-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00
マテバシイ群落	(*60700-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00
イチイガシ群落	(*60800-)	14 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	11 0.06	0 0.00
シラカシ群集	(*60900-)	8 (0.01%)	0 0.00	2 0.01	2 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.03	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ツクパネガシ群落	(*63600-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
サカキ-コジイ群集	(*61000-)	85 (0.05%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	33 0.21	0 0.00	40 0.30	1 0.01	0 0.00	11 0.06	0 0.00
シノモチ-シリブカガシ群集	(*61100-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ホルトノキ群落	(*61200-)	3 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.05	0 0.00	0 0.00
スタジイ群落	(*61300-)	37 (0.2%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.01	1 0.01	34 0.19	0 0.00

	(ゲンラク-シゼンド)	ゴウケイ	ホッカイドウ	トウホク	カントウ	トウカイ	ホクリク	キンキ	チュウゴク	シコク	キュウシュウ	オキナワ
ヤブコウジ-スタジイ群集	(*61301-)	46 (0.03%)	0 0.00	0 0.00	2 0.01	3 0.02	20 0.31	0 0.00	3 0.02	0 0.00	18 0.10	0 0.00
ミミズバイ-スタジイ群集	(*61302-)	184 (0.12%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	26 0.17	0 0.00	3 0.02	0 0.00	0 0.00	155 0.85	0 0.00
ホソバカナワラビ-スタジイ群集	(*61304-)	15 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	7 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.04	0 0.00	3 0.02	0 0.00
スタジイ-タイミンタチバナ群集	(*61302-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
タブ群落	(*61400-)	46 (0.03%)	0 0.00	1 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	1 0.01	9 0.07	4 0.04	30 0.16	0 0.00
イノデ-タブ群集	(*61401-)	4 (0.00%)	0 0.00	1 0.00	2 0.01	0 0.00	1 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ムサシアナミ-タブ群落	(*61402-)	5 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.03	0 0.00
クスノキ群落	(*63700-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
カゴノキ群落	(*61500-)	2 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00
ホソバタブ群落	(*61600-)	3 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.02	0 0.00
ウバメガシ群落	(*61700-)	126 (0.08%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	7 0.05	0 0.00	107 1.12	12 0.07	0 0.00
ウバメガシ-トベラ群集	(*61701-)	97 (0.06%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	59 0.38	0 0.00	7 0.05	1 0.01	30 0.31	0 0.00	0 0.00
マサキ-トベラ群集	(*61707-)	132 (0.08%)	0 0.00	1 0.00	1 0.01	5 0.03	1 0.02	0 0.00	113 0.82	1 0.01	10 0.05	0 0.00
オニヤブソテツ-ハマビワ群集	(*61703-)	154 (0.10%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.04	0 0.00	149 0.81	0 0.00
ムニンヒメツバキ-コブガシ群集	(*63800-)	5 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	5 0.03	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ムニンヒメツバキ-シマオオタニワタリ群集	(*63900-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
シマホルトノキ-ウドノキ群集	(*64000-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
オガサワラボショウジセキモンウライソウ群集	(*64100-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
モクタチバナ-セキモンノキ群集	(*64200-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ハスノハギタ-モモタマナ群集	(*64300-)	3 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	3 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
モモタマナ-キリハボク群落	(*64400-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
オガサワラビロウ-タコノキ群集	(*64500-)	4 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	6 0.03	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
タコノキ群落	(*64600-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
ワダンノキ群集	(*64700-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
コバナアカテツ-ムニンアオガンビ群集	(*64800-)	8 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	8 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
アマミアラカシ群落	(*60602-)	1 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00

	(ゲンラク-シゼンド)	ゴウケイ	ホッカイドウ	トウホク	カントウ	トウカイ	ホクリク	キンキ	チュウゴク	シコク	キユウシュウ	オキナワ
アカマツ植林	(*90101-)	3665 (2.36%)	0 0.00	1945 5.66	471 3.07	216 1.38	10 0.15	36 0.27	576 4.16	4 0.04	409 2.23	0 0.00
クロマツ植林	(*90102-)	1268 (0.82%)	0 0.00	102 0.30	155 1.01	398 2.57	1 0.02	97 0.73	196 1.42	17 0.18	302 1.65	0 0.00
スギ・ヒノキ・サクラ 植林	(*90103-)	26613 (17.12%)	1 0.00	3667 10.62	2224 16.51	4724 30.46	909 13.91	3529 26.64	2194 15.85	3554 37.27	5811 31.70	0 0.00
落葉針葉樹植林	(*90200-)	3789 (2.44%)	1322 4.83	1657 4.80	739 4.82	50 0.32	3 0.05	4 0.03	14 0.10	0 0.00	0 0.00	0 0.00
外国産針葉樹植 林	(*90300-)	15 (0.01%)	14 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00
常緑広葉樹植林	(*90400-)	11 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.02	0 0.00	0 0.00	9 0.05	0 0.00
マテバシイ植林	(*90402-)	18 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	18 0.12	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
テリハボク林	(*91800-)	2 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	2 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
落葉広葉樹植林	(*90500-)	94 (0.06%)	30 0.11	7 0.02	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.03	1 0.01	4 0.04	48 0.26	0 0.00
外国産広葉樹植林	(*90600-)	39 (0.03%)	4 0.01	12 0.03	1 0.01	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00	5 0.03	16 1.30
竹林	(*90700-)	175 (0.11%)	0 0.00	7 0.02	13 0.08	11 0.07	7 0.11	21 0.16	9 0.07	47 0.49	60 0.33	0 0.00
常緑果樹園	(*90800-)	1406 (0.90%)	0 0.00	0 0.00	84 0.55	165 1.06	1 0.02	87 0.66	79 0.57	446 4.68	537 2.95	7 0.57
落葉果樹園	(*90900-)	610 (0.39%)	50 0.18	226 0.65	45 0.29	40 0.26	22 0.34	65 0.49	84 0.61	31 0.33	47 0.26	0 0.00
桑園	(*91000-)	282 (0.18%)	0 0.00	87 0.25	128 0.84	13 0.08	0 0.00	16 0.12	2 0.01	8 0.08	28 0.15	0 0.00
茶畑	(*91100-)	133 (0.09%)	0 0.00	0 0.00	17 0.11	70 0.45	4 0.06	13 0.10	0 0.00	4 0.04	25 0.14	0 0.00
苗圃	(*91200-)	42 (0.03%)	4 0.01	2 0.01	32 0.21	0 0.00	0 0.00	3 0.02	0 0.00	0 0.00	1 0.01	0 0.00
畑地雑草群落及び 休耕畑雑草群落	(*91300-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
畑地雑草群落	(*91500-)	7817 (5.03%)	1849 6.75	1510 4.37	1626 10.61	558 3.60	97 1.48	82 0.62	186 1.34	258 2.71	1404 7.66	247 20.13
休耕畑地雑草群落	(*91400-)	241 (0.16%)	187 0.68	1 0.00	10 0.07	6 0.04	0 0.00	1 0.01	3 0.02	0 0.00	33 0.18	0 0.00
水田雑草群落及び 休耕田雑草群落	(*91600-)	0 (0.00%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
水田雑草群落	(*91600-)	17003 (10.94%)	1024 3.74	4248 12.31	2322 15.15	1809 11.66	964 14.75	1665 12.57	1745 12.60	1043 10.94	2179 11.89	4 0.33
休耕田雑草群落	(*91700-)	90 (0.06%)	0 0.00	1 0.00	42 0.27	5 0.03	0 0.00	28 0.21	0 0.00	0 0.00	8 0.04	6 0.49
牧草地	(*91500-)	2429 (1.56%)	1328 4.85	369 1.07	147 0.96	113 0.73	20 0.31	65 0.49	106 0.77	24 0.25	221 1.21	36 2.93
市街地	(*00100-)	5300 (3.41%)	663 1.69	598 1.73	602 3.93	1339 8.63	154 2.36	936 7.07	223 1.61	249 2.61	703 3.84	33 2.69
緑の多い住宅地	(*00200-)	2025 (1.30%)	24 0.09	308 0.89	511 3.35	125 0.81	91 1.39	133 1.00	359 2.59	62 0.65	410 2.26	2 0.16
工場地帯	(*00300-)	625 (0.40%)	56 0.20	39 0.11	87 0.57	139 0.90	7 0.11	111 0.84	68 0.49	37 0.39	81 0.64	0 0.00

	(ゲンラク-シゼンド)	ゴウケイ	ホッカイドウ	トウホク	カントウ	トウカイ	ホクリク	キンキ	チュウゴク	シコク	キュウシュウ	オキナワ
造成地	(*00400-)	588 (0.38%)	108 0.39	39 0.11	125 0.82	50 0.32	10 0.15	63 0.48	37 0.27	60 0.63	90 0.49	6 0.49
干拓地	(*00500-)	59 (0.04%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	41 0.26	0 0.00	0 0.00	3 0.02	0 0.00	15 0.08	0 0.00
自然裸地	(*00700-)	507 (0.33%)	77 0.28	68 0.20	98 0.64	60 0.39	28 0.43	42 0.32	30 0.22	36 0.38	68 0.37	0 0.00
死塩田	(*00900-)	10 (0.01%)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.04	5 0.04	0 0.00	0 0.00	0 0.00
開放水域	(*00600-)	1877 (1.21%)	261 0.95	265 0.77	327 2.13	199 1.28	10 0.15	620 4.68	74 0.53	54 0.57	64 0.35	3 0.26
開放水域	(*00600-)	166 (0.11%)	4 0.01	102 0.30	36 0.23	9 0.06	0 0.00	4 0.03	0 0.00	10 0.10	1 0.01	0 0.00
不明区分	(*00000-)	92 (0.06%)	0 0.00	19 0.06	17 0.11	0 0.00	3 0.05	0 0.00	6 0.04	3 0.03	44 0.24	0 0.00
	(ゴウケイ-)	155450	27379	34516	15327	15509	6537	13246	13844	9536	18329	1227

表 2 - 5 地方別植生自然度集計表

(シゼンド)	上段メッシュ数										
	下段地方別の出現比率										
	ゴウケイ	ホッカイドウ	トウホク	カントウ	トウカイ	ホクリク	キンキ	チュウゴク	シコク	キュウシュウ	オキナワ
(10)	1976 (1.27%)	998 5.65	390 1.13	177 1.15	78 0.50	72 1.10	50 0.38	37 0.27	21 0.22	106 0.58	47 3.83
(9)	30657 (19.72%)	16677 60.91	6207 17.98	1727 11.27	1119 7.22	1222 18.69	503 3.80	353 2.55	575 6.03	1571 8.57	703 57.29
(8)	7666 (4.93%)	220 0.80	2016 5.84	355 2.32	807 5.20	549 8.40	526 3.97	338 2.44	817 8.57	2010 10.97	28 2.28
(7)	30839 (19.84%)	90 0.33	9111 26.40	2781 18.14	2918 18.81	2196 33.59	4376 33.04	5890 42.55	2126 22.29	1351 7.37	0 0.00
(6)	37421 (24.07%)	2571 9.39	7883 22.84	3738 24.39	5394 34.78	993 15.19	5683 27.80	2981 21.53	3579 37.53	6579 35.89	20 1.63
(5)	3130 (2.01%)	1037 5.79	586 1.70	127 0.85	314 2.02	53 0.81	38 0.29	156 1.13	66 0.69	684 3.73	69 5.62
(4)	2730 (1.76%)	518 1.87	431 1.25	216 1.41	148 0.95	41 0.63	159 1.20	1080 7.80	27 0.28	104 0.57	6 0.49
(3)	2527 (1.63%)	72 0.26	327 0.95	307 2.00	288 1.86	27 0.41	185 1.40	165 1.19	489 5.13	644 3.51	23 1.87
(2)	29280 (18.84%)	4227 15.44	6435 18.64	4607 30.06	2606 16.80	1172 17.93	1945 14.68	2398 17.32	1387 14.54	4214 22.99	289 23.55
(1)	6582 (4.23%)	627 2.29	676 1.96	814 5.31	1569 10.12	171 2.62	1115 8.42	356 2.43	346 3.63	889 4.85	59 3.18
(10-2)	507 (0.33%)	77 0.28	68 0.20	98 0.64	60 0.59	28 0.43	42 0.32	30 0.22	36 0.38	68 0.57	0 0.00
(10-3)	2043 (1.31%)	265 0.97	367 1.06	363 2.37	208 1.34	10 0.15	624 4.71	74 0.53	64 0.67	65 0.35	3 0.24
(10-0)	92 (0.06%)	0 0.00	19 0.06	17 0.11	0 0.00	3 0.05	0 0.00	6 0.04	3 0.03	44 0.24	0 0.00
(ゴウケイ)	155450	27379	34516	15327	15509	6537	13246	13844	9536	18329	1227

(3) 自然公園および保全地域の集計

集計対象となった公園面積は全国の公園面積の約80%である。各公園別の調査面積は表2-6~9に示すとおりである。国立公園は全国27ヶ所のうち、全域の調査が実施されたのは9ヶ所であり、一部調査されたのは16ヶ所、未調査は2ヶ所である。国定公園は全国国定公園面積の93%について調査が実施され、全国51ヶ所のうち、全域の調査が実施されたのは17ヶ所、一部調査されたのは26ヶ所であり、未調査は8ヶ所である。保全地域（自然環境保全地域および原生自然環境保全地域）は全国10ヶ所のうち6ヶ所について全域の調査が実施され、未調査は4ヶ所である。保全地域は一地域あたりの面積が狭いため総メッシュ数が77と限られている。適切な評価を行うためにはさらに細かいメッシュを用いる必要があると考えられる。

表2-6、7は、昭和54年度調査メッシュ数との比較によって、国立公園、国定公園別の今回の調査実施率の概要を示している。昭和54年度値とメッシュ数が異なるのは海域部に含まれる公園の集計方法が異ったためと考えられる。昭和54年度調査は保全地域については実施されていないので、同様の集計は表2-8、9から省略されている。

公園別の群落集計結果は付表-11のとおりである。この群落とは同一性格の群落をまとめた集約群落である。

国立公園、国定公園、保全地域などの公園地域区別の植生区分の構成比を表2-10に示した。それによると自然植生の割合は国立公園では51.4%、国定公園24.0%、原生自然環境保全地域100.0%、自然環境保全地域90.7%となっている。

「モデル定住圏における自然公園の活用
に関する調査」（環境庁、昭和54年）より

表2 - 6 国立公園の調査面積（メッシュ数）

公園コード	公園名	A 昭和 55 年度 調査メッシュ数	B 昭和 54 年度 調査メッシュ数	A ÷ B × 100	備 考
101	利尻礼文 サロベツ	284	299	95.0	利 尻 礼 文 サロベツ
102	知 床	0	489	-	-
103	阿 寒	0	987	-	-
104	大雪山	2,469	2,428	101.7	
105	支笏洞爺	1,097	1,058	103.7	支 笏 洞 爺 羊蹄山
106	十和田八幡平	480	777	61.8	八甲田山、十和田湖 八幡平
107	陸中海岸	188	412	45.6	
108	磐梯朝日	910	1,871	48.6	出羽三山、朝日 飯 豊 磐梯、猪苗代
109	日 光	1,444	1,371	105.3	尾 瀬 日 光 那須、塩原
110	上信越高原	1,104	1,843	59.9	上信越 妙 高
111	秩父多摩	334	1,194	28.0	
112	小笠原	63	199	31.7	
113	富士箱根伊豆	622	1,410	44.1	富 士 箱 根 伊 豆 七 島

公園 コード	公園名	A 昭和 55 年度 調査メッシュ数	B 昭和 54 年度 調査メッシュ数	A ÷ B × 100	備 考
				%	
114	中部山岳	852	1,673	50.9	
115	南アルプス	48	358	13.4	
116	白 山	140	456	30.7	
117	伊勢志摩	569	641	88.8	
118	吉野熊野	608	700	86.9	大台、大峰 北上、熊野 海 岸
119	山陰海岸	138	163	84.7	
120	大山隠岐	434	507	85.6	大山、蒜山 隠岐、島根、三瓶
121	瀬戸内海	705	1,243	56.7	
122	足摺宇和海	141	344	41.0	
123	阿 蘇	701	666	105.3	阿 蘇 九 重
124	雲仙天草	237	555	42.7	雲 仙 天 草
125	西 海	211	570	37.0	
126	霧島屋久	387	547	70.7	霧 島 錦江湾 屋 久
127	西 表	120	-	-	-
	計	14,286	22,761	62.8	

団地の名称および調査面積の割合を示す。

○：全域調査 ○：一部調査 -：未調査

海域を含むメッシュ数。

陸域のみでは、19,358となる。

表 2 - 7 国定公園の調査面積 (メッシュ数)

公園 コード	公園名	A 昭和 55 年度 調査メッシュ数	B 昭和 54 年度 調査メッシュ数	A ÷ B × 100	備 考
				%	
201	網 走	0	116	-	-
202	ニセコ積丹 小樽海岸	244	209	116.7	
203	大 沼	0	81	-	-
204	下北半島	0	193	-	-
205	津 軽	222	233	95.3	
206	男 鹿	0	78	-	-
207	栗 駒	724	779	92.9	
208	鳥 海	299	286	104.5	
209	蔵 王	406	387	104.9	
210	佐渡弥彦	319	280	113.9	
211	越後三山只見	439	613	71.6	
212	水郷筑波	390	132	295.5	
213	南房総	82	54	151.9	
214	明治の森高尾	0	113	-	-
215	丹沢大山	231	315	73.3	
216	能登半島	137	106	129.2	
217	越前加賀海岸	93	77	120.8	
218	妙義荒船	100	139	71.9	
219	佐久高原 八ヶ岳中信高 原	0	378	-	-
220	天竜奥三河	220	224	98.2	
221	揖斐関ヶ原 養 老	55	174	31.6	

公園 コード	公園名	A 昭和 55 年度 調査メッシュ数	B 昭和 54 年度 調査メッシュ数	A ÷ B × 100	備 考
				%	
222	飛騨木曾川	180	158	113.9	
223	三河湾	136	90	151.1	
224	愛知高原	280	189	148.1	
225	若狭湾	280	210	133.3	
226	鈴 鹿	181	284	63.7	
227	室生青目青山	61	227	26.9	
228	琵琶湖	740	285	259.6	
229	明治の森箕面	11	8	137.5	
230	大和青垣	0	58	-	-
231	金剛生駒	117	151	77.5	
232	高野竜神	144	179	80.4	
233	氷ノ山後山	393	387	101.6	
234	那岐山 比婆道後帝釈	81	78	103.8	
235	西中国山地	300	279	107.5	
236	北長門海岸	113	77	146.8	
237	秋吉台	46	43	107.0	
238	剣 山	220	197	89.5	
239	室戸阿南海岸	101	64	157.8	
240	石 鎚	111	96	115.6	
241	北九州	83	80	103.8	
242	玄 海	163	124	131.5	
243	壱岐対馬	18	149	12.1	
244	那馬日田 英彦山	840	740	113.5	

公園 コード	公園名	A 昭和 55 年度 調査メッシュ数	B 昭和 54 年度 調査メッシュ数	A ÷ B × 100	備 考
				%	
245	日豊海岸	0	147	-	-
246	祖母傾	1	217	0.5	
247	日南海岸	75	43	174.4	
248	奄美群島	132	104	126.9	
249	沖縄海岸	65	51	127.5	
250	沖縄戦跡	27	25	107.5	
251	南三陸金華山	199	-	-	
	計	9,059	9,707	93.3	

○ : 全域調査 : 一部調査 - : 未調査

表 2 - 8 原生自然環境保全地域の調査面積

(メッシュ数)

地域コード	地域名	調査メッシュ数	備考
301	南硫黄島	0	-
302	屋久島	0	-
303	大井川源流部	11	
304	十勝川源流部	12	
305	遠音別岳	0	-
	計	23	

表 2 - 9 自然環境保全地域の調査面積

(メッシュ数)

地域コード	地域名	調査メッシュ数	備考
401	早池峰	17	
402	稲尾岳	5	
403	大平山	10	
404	利根川源流部	22	
405	白髪岳	0	-
	計	54	

○ : 全域調査 : 一部調査 - : 未調査

表 2 - 1 0 公園地域区別 植生区分構成比

() は構成比%を示す

植 生 区 分	国 立 公 園	国 定 公 園	原生自然環境 保 全 地 域	自 然 環 境 保 全 地 域
1 寒帯・高山帯自然植生	454 (3.2)	37 (0.4)	0 (0)	5 (9.2)
2 亜寒帯・亜高山帯自然植生	3717 (26.0)	247 (2.7)	17 (73.9)	29 (53.7)
3 亜寒帯・亜高山帯代償植生	104 (0.7)	15 (0.1)	0 (0)	0 (0)
4 ブナクラス域自然植生	2442 (17.1)	1480 (16.3)	6 (26.1)	11 (20.4)
5 ブナクラス域代償植生	1370 (9.6)	1110 (12.3)	0 (0)	4 (7.4)
6 ヤブツバキクラス域自然植生	564 (4.0)	286 (3.2)	0 (0)	4 (7.4)
7 ヤブツバキクラス域代償植生	1648 (11.5)	1484 (16.4)	0 (0)	0 (0)
8 河辺・湿原・塩沼池・砂丘植生 (各クラス域共通)	164 (1.1)	131 (1.4)	0 (0)	0 (0)
9 植林地・耕作地植生 (各クラス域共通)	2882 (20.2)	2996 (33.1)	0 (0)	1 (1.9)
10 その他	941 (6.6)	1273 (14.1)	0 (0)	0 (0)
計	14286 (100.0)	9059 (100.0)	23 (100.0)	54 (100.0)

2 - 2 考 察

(1) 植生状況の解析

今回の集計結果より全国の植生状況を概観すると以下のような傾向がうかがえる(図2 - 1、2 - 2参照)。

緑によって被われている地域は全体の約94%で、市街地、開放水域など植生のほとんど存在しない地域は約6%であった。森林面積は全体の約69%で、このうち約24%が植林地である。残りの森林のうち人為の介入している森林は約25%、自然林は約20%であった。森林以外の緑被地は約25%であるが、大半は耕作地である。

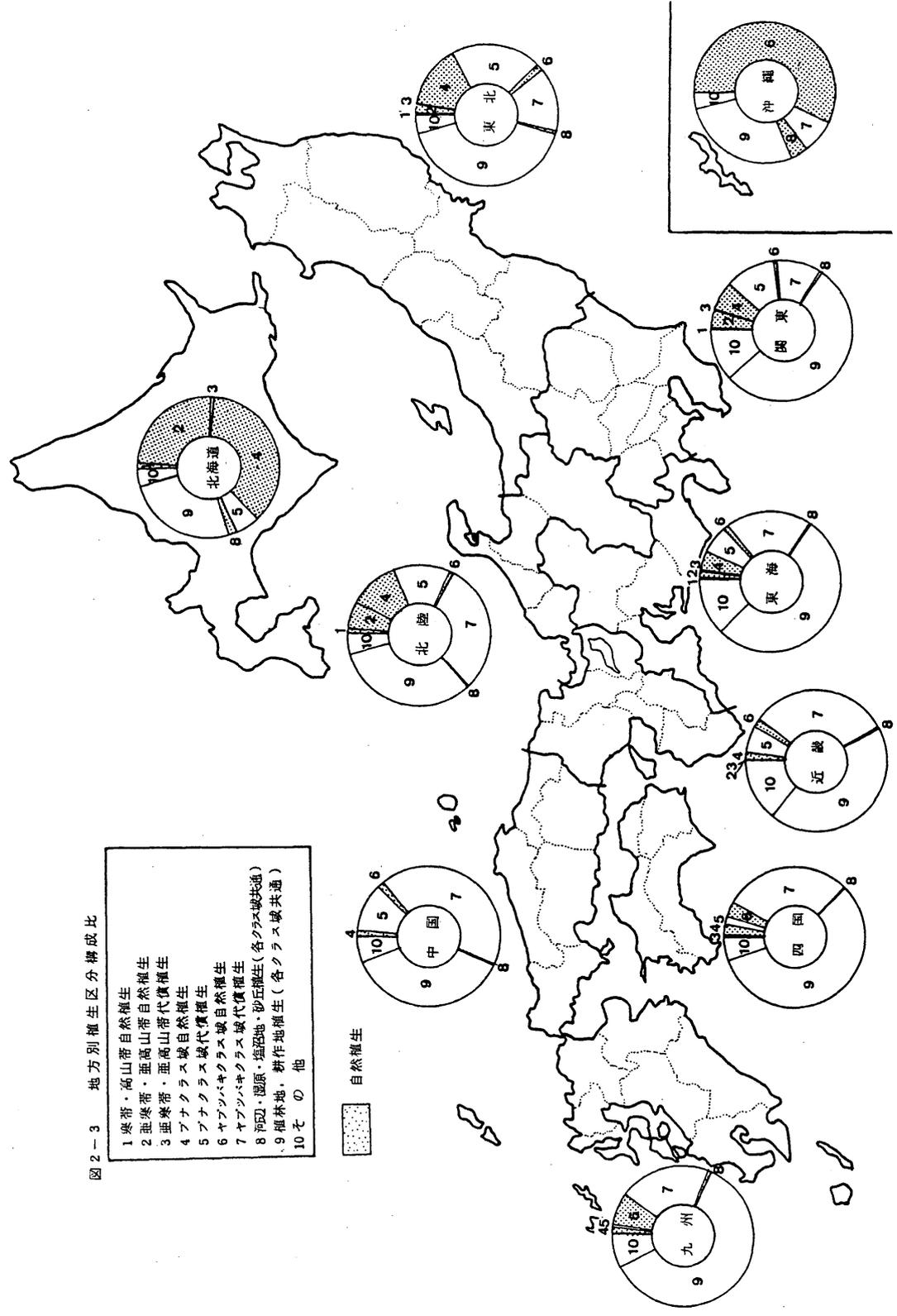
植生区分ごとにみても、寒帯・高山帯の植生は全体のわずか0.4%と小面積であり、そのすべてが自然植生となっている。亜寒帯・亜高山帯では自然植生6.2%に対し代償植生は0.2%でほとんどが自然植生である。ブナクラス域では自然植生11.7%、代償植生9.6%で、自然植生に対し代償植生の比率が増大する。ヤブツバキクラス域では代償植生は18.4%とより一層増大するが、自然植生はわずか2%となり、両者の関係は逆転する。植林地・耕作地および市街地などからなるその他の区分は51%を占め、全国の約2分の1の地域は人間によって利用されている地域となっている。このような地域の多くは、本来ならばヤブツバキクラス域の植生が成立する地域であり、このことはヤブツバキクラス域自然植生の残存率の低さを理由づけるものであるといえる。

植生状況を地方別にみても以下のようなことがいえる(図2 - 3参照)。まず、北海道、沖縄の我が国両端の地方では自然植生の比率が極めて高くなっている。北海道は亜寒帯・亜高山帯およびブナクラス域に、沖縄はヤブツバキクラス域に属するため、両地方はそれぞれの植生帯の自然植生により特徴づけられている。全国的に極めて少ないヤブツバキクラス域自然植生

図 2-3 地方別植生区分構成比

- 1 寒帯・高山帯自然植生
- 2 亜寒帯・亜高山帯自然植生
- 3 亜寒帯・亜高山帯代償植生
- 4 フナクララス域自然植生
- 5 フナクララス域代償植生
- 6 ヤブツバキクララス域自然植生
- 7 ヤブツバキクララス域代償植生
- 8 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生(各クラス域共通)
- 9 種林地・耕作地植生(各クラス域共通)
- 10 その他

自然植生



が沖縄では50%を超えることは注目される。北海道、沖縄を除く、その他の地方では自然植生の比率はいずれも低くなるが、東北、北陸、九州地方で自然植生の比率が比較的高くなっている。その地域的特性から、東北、北陸地方ではブナクラス域の、九州ではヤブツバキクラス域の自然植生の比率が高い。近畿、中国、四国の各地方では自然植生はきわめて少なくなっている。代償植生では東北地方においてはブナクラス域の比率が高いが、その他の地方ではヤブツバキクラス域の比率が高くなっている。特に中国地方ではヤブツバキクラス域の代償植生の比率が高い。植林地・耕作地植生はいずれの地方でも高い比率を占めており、関東、東海、四国、九州の各地方では50%を超えている。

以上のような各地の植生状況は植生自然度の集計結果（表2-5）からわかる。北海道および沖縄では自然度9（自然林）が高い比率を占めるのに対し、その他の地方では自然度7（二次林）および自然度6（植林）が高い比率を占めていることは、北海道、沖縄を除く地域における人為的影響の強さを物語るものである。

次に、地方別に植生区分を構成する群落をみると表2-11に示すようになる。この表は群落別の出現状況の一覧（表2-4）よりいずれかの地方で1%以上を占める群落を抽出し、まとめたものであり、全国で64の群落が選ばれた。これらの群落によって、いずれの地方においても9割以上の面積が占められている。

この表より、以下のような各地の特徴が明らかとなった。